



看護連盟だより 67号に寄せてご挨拶



栃木県看護連盟会員の皆様、連盟の活動に関しご理解・ご協力いただきありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の流行がなかなか落ち着きません。栃木県におきましても、毎日の感染者に変動があり落ち着かない状況が続いています。そのような中、医療従事者からのクラスターの報告がないことは、ワクチン接種の効果に加え医療現場における看護職の方々の毎日の努力の賜物であり、敬意を表すとともに感謝申し上げます。

さて、6月には昨年同様最小の参加人数でしたが、無事今年度の総会を終えることができました。今年度は、3密を避ける形で研修会等を再開していく予定としました。また、来年の第26回参議院選挙を控え、支部別会議も開催していきます。その時の感染状況に合わせ方法等検討していきたいと考えています。ご協力をよろしくお願いたします。

また、本来であれば本年は栃木県看護連盟創立60周年の記念行事の年ですが、来年に盛大に開催していきたいと考えています。早くコロナ禍を脱していけるよう祈るばかりです。

コロナ禍が過ぎ去った後の社会はどのように変化していくのでしょうか。来年は第26回参議院選挙です。“届けよう看護の声を！私たちの未来へ”看護職一丸となり一人でも多くの看護職を国会に送り続けていきましょう。

栃木県看護連盟の皆様、大雨による被災に遭われた方に心からのお見舞い申し上げます。そして、ワクチン接種は進んでいますか？四次緊急事態宣言が発令され、病院や施設の多忙さは改善されていません。看護職に感謝を表明して下さるのであれば、ワクチン接種を早急に進め、集団免疫の形成に社会が動いてほしいと願っています。勿論理由があって打てない方、正しい知識を持って判断した方はその限りではなく、打たない方に誹謗中傷があってはなりません。

さて、日本看護連盟のミッションであります第26回参議院議員選挙候補予定者の人選ですが、推薦委員会が新人を全会一致で決定し、5月の中央役員会に報告、総会で皆様のご承認を頂く予定でしたが、会長会が開催できずにいます。修復中ですが、その間に衆議院選挙が秋までにありますので、看護の力を結集して参りたいと思います。その後、スローガンである“届けよう看護の声を！私たちの未来へ”に向かって進んで参りましょう！

盛夏の候、皆様ますますご健勝のことと存じます。皆さまのご協力の下、ワクチン接種も進み、感謝申し上げます。

国会閉会後は、地元・岡山を歩き、地域の方からご意見をいただいています。新型コロナウイルスだけでなく、氏制度の在り方、LGBT、持続可能な年金制度など様々な課題に対して、時にはお叱りもいただきます。

今年の経済財政運営と改革の基本方針（骨太方針）では、女性の活躍・子育て支援に向けて、学童保育、病児保育サービスの充実が言及されました。これは私が何度も自民党の部会で発言してきたことです。

看護職には子育て中の方も多くいらっしゃいますが、子どもがいる・いないに関わらず、スタッフ全員が平等に働ける環境づくりが必要です。子育てと就労を両立できる施策は、すべての看護職に有益なものとなるはずで。



栃木県看護連盟会長

宮本 律子



日本看護連盟会長

大島 敏子



衆議院議員

あべ 俊子